

高原野菜販売額報告



南八甲田高原野菜生産組合（小林喜代勝組合長）は11月21日、平川市のアップルランドで販売反省会を開きました。

今年産は大雨や高温の影響で被害がありましたが、生産者は出荷基準、品質を維持し、販売額は主力の大根、人参をはじめ、全体で約4億7300万円となり、昨年の販売額を上回ったことを報告しました。



あいさつをする小林組合長

第32回黒石りんごまつり



11月18日と19日、黒石青果センターは「第32回黒石りんごまつり」でりんごの販売を行いました。県内各地から訪れる消費者にJA管内で栽培されたりんごの魅力を伝えることを目的とし、対面販売を行いました。

りんごは贈答用、特選品の「サンふじ」（1袋／5kg、10kg）、家庭用サンふじ（1袋／20kg）を販売。来場者は、じっくり品定めしながらりんごを買い求め、2日間で561ケース販売しました。



来場者が購入したりんごを運ぶ職員

強盗を想定した防犯訓練



黒石支店と平賀東支店で、金融店舗を狙った強盗を想定した防犯訓練を実施しました。黒石警察署生活安全課の協力で、防犯に対する行動準備や意識改革を目的に、実践的な訓練を行いました。

警察官3人が犯人役を演じ、職員は、強盗を刺激しないよう要求に従いながら、捜査の手掛かりとなる犯人の服装などの特徴を押さえ、逃げた犯人を職員が追いかけてきました。



黒石支店で実施した訓練

青天の霹靂栽培講習会



尾上グリーンセンターは11月10日、尾上支店で青天の霹靂の栽培講習会を開きました。

同グリーンセンターの山口博之営農指導係長が講師を務め、令和5年産米の生育経過や収量、品質、食味結果などを説明しました。また、令和6年産に向けた米安定生産ポイントも説明し、「基肥一発肥料や初期成育確保のための施肥量の判断に迷った時は、JAの指導員に相談してほしい」と呼び掛けました。



栽培について説明する山口係長